

「さいたま市子ども読書活動推進計画」事業実施状況調査表(公民館)

達成度		方向性	
A	目標以上に実施し、想定よりも大きな効果を得ることができた	A	拡大(新規含む)
B	目標どおりに達成し、想定内の効果を得ることができた	B	継続
C	あまり達成できなかったが、実現に向けて着手している	C	縮小(終了も含む)
D	未着手もしくはほとんど達成できなかった		

3つの基本方針
(1)楽しむ読書 (2)みんなで読書 (3)支える読書

施策	No.	計画掲載頁	施策の内容	所管・関連部署	事業名	事業の概要	平成29年度の事業実績		平成29年度の目標達成度		平成30年度の事業の方向性	
							内容(複数ある場合は分けて記入してください)		達成度	達成度の理由	方向性	方向性の理由
2地域での取組	4	12	(2)公民館での子ども読書活動の推進	常盤公民館	ともだち文庫	読書ボランティアによる本の貸出し、読み聞かせ、お絵かき、工作などを行う。	ともだち文庫のボランティア(世話人)が幼児から小学生までを対象に、読み聞かせと工作・おりがみ・科学あそびなどを行った。29年度は38回実施し、延べ516人が参加した。	B	館報の掲載やチラシを配布したことにより、参加者も順調に集めることができた。また、活動日以外にも、本を借りに来る子どもたちがおり、読書活動の推進を図ることができた。	B	前年度と同様に、ボランティア(世話人会)と協力して、多くの子どもたちが「ともだち文庫」に参加するよう、読み聞かせ・工作・折り紙・科学あそびを行う。	
				南宮公民館	コスモス文庫	読書ボランティアによる本の貸出し、読み聞かせ、お絵かき、工作などを行う。	地域のミニ図書館として幼児や小学生に本を貸し出すだけでなく、文化祭では工作を教えるなどボランティアが熱心に活動してくれた。そのおかげで子どもたちが読書や工作を通じて成長していったように思われる。29年度は39回実施し、延べ885人が参加した。	B	館報への掲載やチラシを対象地域に配布したことにより、参加者もほぼ順調に集まり、読書活動の推進を図ることができた。	B	ボランティア(世話人会)と協力して、多くの子どもたちが「コスモス文庫」に参加するよう、読み聞かせと併せて、工作・科学遊び・折り紙を行う。また、季節毎に実施している「たなばたまつり」・「コスモス祭」も内容を工夫しながら継続していく。	
				谷田公民館	のびのび文庫	本の貸出し、読み聞かせ、工作教室等を通して、地域の子どもの情操を育て、健全な育成を支援する。	読書ボランティアによる本の貸出し、読み聞かせ、ことば遊び、工作などを行った。40回実施し、延べ参加人数は478人であった。	B	各回の参加人数は天候などによって左右されたが、延べ参加人数は例年同様であったため、制作した手作りの工作や絵は公民館のロビーに掲示しており、季節を感じられる作品は公民館の利用者に喜ばれている。	B	地域の子どもの情操を育て、健全な育成を支援するため、前年度と同様の内容及び同程度の開催頻度で、引き続き事業を実施する。	
				別所公民館	すぎのこ文庫	公民館グループ「すぎのこ文庫」による本の貸出しと工作などを行う。	地域の親子向けのミニ図書館として未就学児から幼児向けの本を貸し出すだけでなく、開庫日にはミニ工作教室を開くなど、熱心にボランティア活動を行っている。公民館の公共性をフルに活用し、地域の子どもたち読書推進の底上げを図っている。平成29年度利用冊数は757冊。	B	公民館だよりへの掲載を毎月行ったことにより、利用者も毎月順調に集まり、読書活動の推進を図ることができた。	B	前年度に引き続き、公民館だよりへの掲載、グループと公民館との定例ミーティングを行うことにより、親子で「すぎのこ文庫」へ参加しやすい環境を醸成する。	
				東浦和公民館	にこにこ文庫	本の貸出し、読み聞かせ、本の紹介、わらべ歌・手遊びの指導、工作などを行う。	子ども文庫スタッフによる本の貸出し、読み聞かせ、手遊び、工作などを行った。季節行事を5回実施し、延べ参加人数は140人であった。また、親子のついでを19回実施し、延べ参加人数は484人であった。	B	チラシの配布や公民館だよりの掲載を行った。また、製作する手作り工作物を公民館内に飾ったりした。	B	親子で本の読み聞かせや手遊びなどに参加ができるよう、今年度も引き続き実施していく。	
				大古里公民館	みむろ文庫	公民館グループ「みむろ文庫」による本の貸出しと読み聞かせ、工作などを行う。	幼児と保護者・小学生を対象に全48回にわたって開催した。延べ参加者数は632人だった。	B	毎週一定数の幼稚園児・小学生に利用してもらうことができ、月1回の工作とともに参加者には大変好評で、「読書の推進」だけではなく、「子どもの居場所を提供する」という意味でも大切な役割を果たした。	B	「子どもの居場所づくり」、「読書の重要性」に重きを置き、参加者数を維持するよう努める。	
				尾間木公民館	ひだまり文庫	公民館グループ「ひだまり文庫」による本の貸出しと読み聞かせ、工作などを行う。	小学生、乳幼児の親子を対象に、4月から3月まで18回実施した。延べ参加者数は465人だった。	B	乳幼児の親子の参加が増えているため、「読み聞かせ」の大切さなども内容に取り入れたので参加者には好評で、子育て世代の交流の場として定着してきたため。	B	リピーターを更に増やし、「読み聞かせ」の大切さを重点に置いて、実施していく。	
				本太公民館	ぶんぶん文庫	本太公民館グループ「ぶんぶん文庫」による小学生を対象にした、本の貸出し、読み聞かせ、工作、季節行事等(月2回程度)を行う。	毎月第2・4木曜日に本の貸出しや工作、ゲームを行った。参加者も多く好評だった。延べ参加人数は1,262人だった。	B	チラシの小学校への配布、公民館だよりの掲載等を行った。	B	好評なため今年度も引き続き継続する。	
				栄和公民館	ハッピー子育てサロン	さいたま市よい本を読む運動推進委員会協力の乳幼児向けの本の紹介及び読み聞かせを行う。	年間7回開催した「ハッピー子育てサロン」のうち、4回でさいたま市よい本を読む運動推進委員会による絵本の読み聞かせ・紙芝居等を実施し、延べ60人が参加した。	B	チラシの配布や、他の講座参加者への声掛けにより、実績(平成28年度3回実施延べ18人参加、平成27年度6回実施延べ58人参加)を上回る参加者を集めることができたため。	C	近隣の図書館や子育て支援センターでも読み聞かせを行っており、利用者が重なるため、全7回の講座のうち、読み聞かせの回数を検討する。	
				岸町公民館	親子おはなし会「おはなし玉手箱」	小学生・幼児とその保護者を対象に絵本の読み聞かせ、紙芝居、おりがみ工作等を行う。	さいたま市よい本を読む運動推進委員会のメンバーが月1回絵本の読み聞かせ、紙芝居、おりがみ工作等を行った。平成29年度は年11回実施し、延べ88人参加した。	B	チラシを幼稚園、保育園、小学校の低学年を対象に配布し、「岸町公民館だより」にも掲載したことにより、参加者も順調に集まり、事業が実施でき、読書活動の推進を図ることができた。	B	今年度も引き続き実施する。さらに参加人数の増加を図るため、今後も広く周知する予定。読書に親しみ、おはなしや工作を通じて、地域の方がふれあいを持てる貴重な機会なので気軽に参加できる工夫をしていく。	
				浦和南公民館	南Happy子育てライフ前期「春」読み聞かせ・手遊び・折り紙	小学生・幼児とその保護者を対象に絵本の読み聞かせ、紙芝居、おりがみ工作等を行う。	1~4歳児とその保護者を対象にしたおはなし会を実施した。平成29年度は1回実施し、参加者は19人だった。	B	親子で手遊びを行ったり、絵本に触れ合える機会を提供することができた。	B	さいたま市よい本を読む運動推進委員会の読み聞かせが好評なので平成30年度も実施する。	
				六辻公民館	夏休み子どもわくわくランド「ほんらんど」	絵本の読み聞かせ、紙芝居、工作等を行う。	青少年育成浦和高砂地区会と共催し、地域の子供会役員などが絵本の読み聞かせ、紙芝居、工作などを行った。平成29年度は1回実施し、参加者は43人だった。	B	読書に親しむだけでなく、地域の大人と子どもの交流を図ることができた。	B	青少年育成浦和高砂地区会よりこの活動は平成29年度を最後とするとの申し出があったので、別の形態でおはなし会を継続する。	
				六辻公民館	おはなしのへや	「ののほな」の皆さんによる、絵本の読み聞かせ・手遊び、簡単な工作などを行い。親子や参加者同士のふれあいの場を提供します。	乳幼児の親子を対象に、5月から2月まで8回実施した。延べ参加者数は192人だった。	B	乳幼児の親子の参加が増えているため、「読み聞かせ」の大切さなども内容に取り入れたので参加者には好評で、子育て世代の交流の場として定着してきたため。	B	口コミ情報で広がった輪を大切にしながら今年度も引き続き、講座を実施する。	

「さいたま市子ども読書活動推進計画」事業実施状況調査表(公民館)

達成度		方向性	
A	目標以上に実施し、想定よりも大きな効果を得ることができた	A	拡大(新規含む)
B	目標どおりに達成し、想定内の効果を得ることができた	B	継続
C	あまり達成できなかったが、実現に向けて着手している	C	縮小(終了も含む)
D	未着手もしくはほとんど達成できなかった		

3つの基本方針
(1)楽しむ読書 (2)みんなで読書 (3)支える読書

施策	No.	計画掲載員	施策の内容	所管・関連部署	事業名	事業の概要	平成29年度の事業実績		平成29年度の目標達成度		平成30年度の事業の方向性	
							内容(複数ある場合は分けて記入してください)		達成度	達成度の理由	方向性	方向性の理由
				針ヶ谷公民館	子育て応援講座 お話のひろば	大型絵本の読み聞かせに合わせて生演奏を楽しみ、子育て仲間の交流を深める。	お話のひろばを依頼している団体の都合により、平成29年度は実施を中止した。	D	なし	C	読み聞かせグループと相談し、継続の有無について確認する。	
				日進公民館	絵本の読み聞かせ	本との出会いにより感情や情緒を育むため、乳幼児とその親を対象に、図書館職員による読み聞かせや手遊びなどを行う。	乳幼児とその親を対象とした読み聞かせや手遊び	B	参加者アンケートの満足度(満足・やや満足)の合計が100%であったため	C	昨年度は前期2回、後期2回実施したが、今年度は図書館の都合により年2回のみ実施する。	
				大宮南公民館	ぶれひよこ学級 I	図書館職員による読み聞かせ・手遊び・紙芝居等を行う。	本の読み聞かせと手遊びの実施 ベビーヨガ	B	定員15組のところ、10組の申し込みがあり好評であった。	B	参加者に好評のため、他の講座と組み合わせて、継続。	
				土合公民館	遊びと絵本のつどい	絵本の読み聞かせなどから、本に親しみ、簡単な工作を通して交流する。	5・7・12・3月の土曜日、乳幼児とその保護者、小学生を対象に開催しました。参加のべ人数は74人。また文化祭にも参加しました。	C	土曜日の開催で夫婦参加も何組か毎回あるが、全体的に参加者は少ない傾向にある。幼児向けであるので、小学生の参加はあっても満足度につながらない。	B	周知方法を考えていく。	
			なかよし文庫サロン		なかよし文庫と連動して絵本の読み聞かせ・わらべ歌・人形劇・ミニコンサートなどを行い、講座後は地域の交流の場とする	4・6・10・12・12・2月の6回乳幼児とその保護者を対象に実施しました。参加延べ人数は、144人でした。	C	講師によって、参加者の増減があり、コンスタントに参加数がないのが残念である。平均20組参加予定のところ、12組ほどとなった。	B	文庫と連動してクリスマスの行事に合わせ、人形劇、ミニコンサートを行うなど、行事を利用した内容とする。		
			なかよし文庫		地域のボランティアが週1回、絵本・児童図書等の貸出しを行い、読書推進を行う。	ほぼ毎週木曜日(祝日・年末年始を除く)46回の貸出しを行い、1,982人の利用者があり、その他事務室貸出し98人あり、合わせて2,080人、2,724冊の利用があった。秋以降右肩上がりの利用数となっている。	A	利用者増を狙い、チラシを作成し地域の学校・幼稚園などに配布したところ、大幅な利用者増につながった。	A	昨年末から続いている、利用者の増加を今後も目指す。利用者減の場合、チラシを配布する。		
				大宮東公民館	おはなしひろば	地域のボランティアが月に1回、乳幼児とその保護者を対象に絵本の読み聞かせやすばなしを行います。	絵本の読み聞かせ	C	図書館とおはなし会と曜日がかぶってしまったこともあり、参加者が0人の月もあった。	C	参加者の満足度は高かったため、年間9回から6回に減らして今年度も開催する。	
				田島公民館	おひさま文庫	子どもの読書の機会を増やすため、絵本や児童書の貸出しを行う。また、季節の行事や簡単な工作なども行う。	原則、毎月第2・4土曜日に合計24回実施し、延べ1,110人の利用があった。	A	目標以上の人数に利用してもらえた。	B	来年度も公民館だよりなどでの広報を継続して行い、利用者数の維持を目指す。	

※上記以外に、子ども読書に関する事業の実施がある場合は、下の行に追記してください。

				針ヶ谷公民館	子育て応援講座 親子で楽しむおはなし会	未就園児とその保護者を対象に絵本の読み聞かせ、手遊び等を行う。	未就園児とその保護者を対象に絵本の読み聞かせ、手遊び等を実施した。平成29年度は2回実施し、延べ60人が参加した。	B	親子で手遊びを行ったり、絵本に触れ合える機会を提供することができた。	B	好評なため今年度も引き続き継続する。
				大宮南公民館	ぶれひよこ学級2	図書館職員による読み聞かせ・手遊び・紙芝居等を行う。2回目はベビードダンスを行う。	本の読み聞かせと手遊びの実施 ベビードダンス	B	定員20組のところ、19組の申し込みがあり好評であった。	B	参加者に好評のため、他の講座と組み合わせて、継続。